

2022年
大分県鋁工業の生産動向

令和6年7月1日公表

大分県企画振興部統計調査課

(1) 概況

2022年の大分県鉱工業生産指数（2020年＝100）は、107.4で前年比＋3.5％となり、2年連続で上昇した。

全国生産指数は105.3で前年比▲0.1％となり2年ぶりの低下となった。

九州生産指数は107.8で前年比＋2.2％となり、2年連続の上昇となった。

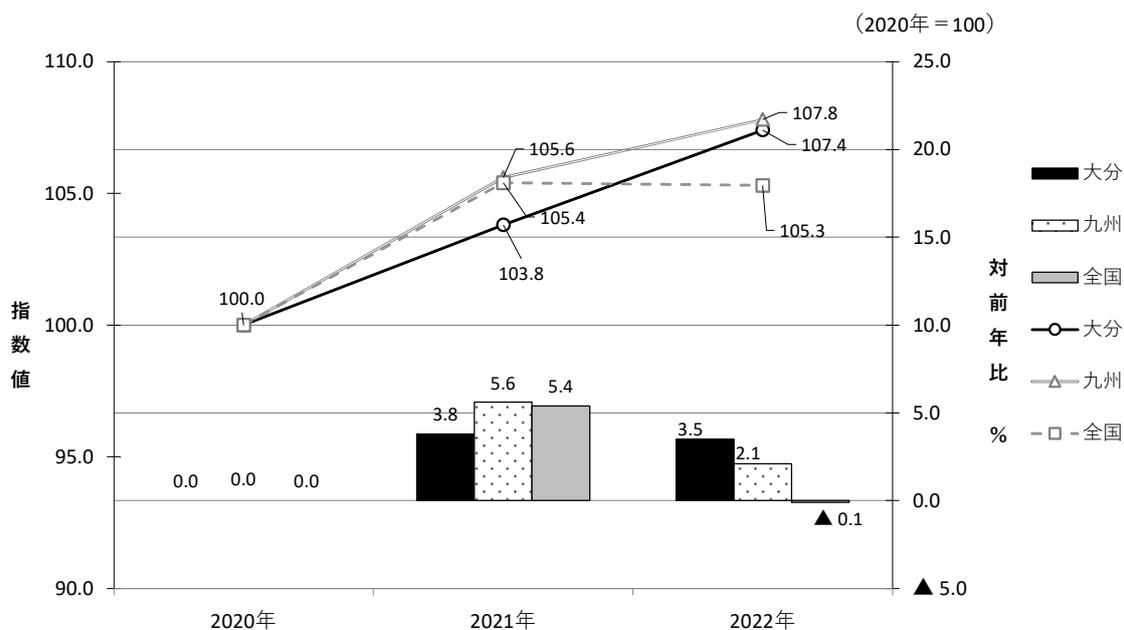
大分県生産指数を業種別にみると、前年に比べ、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、食料品工業などの8業種が上昇し、鉄鋼業、汎用・生産用・業務用機械工業、鉱業などの5業種が低下した。（統計表第1表）

特殊分類別（財別）では、最終需要財は前年比＋6.5％と2年連続で上昇し、生産財は前年比＋2.6％と2年連続で上昇した。（統計表第13表）

出荷指数は、103.6で前年比＋0.1％となり、2年連続で上昇した。業種別にみると、前年に比べ、電子部品・デバイス工業、食料品工業、輸送機械工業などの6業種が上昇し、汎用・生産用・業務用機械工業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業などの7業種が低下した。（統計表第2表）

在庫指数は、101.5で前年比▲1.0％となり、2年ぶりに低下した。業種別にみると、前年に比べ、その他工業、鉱業、食料品工業などが上昇し、汎用・生産用・業務用機械工業、プラスチック製品工業、化学・石油製品工業などが低下した。（統計表第3表）

図1 生産指数及び対前年比の推移



資料：統計表第1表

① 生産活動の特徴

(ア) 生産指数は2年連続で上昇

2022年の生産指数は107.4で前年比+3.5%となり、2年連続で上昇した。

(イ) 8業種が上昇、5業種が低下

2022年の生産指数を業種別にみると、電子部品・デバイス工業が2年連続で上昇するなど、13業種中8業種が上昇した。一方、鉄鋼業が2年ぶりに低下するなど、5業種が低下した。(統計表第1表)

上昇した業種は、電子部品・デバイス工業(対前年比+17.7%)、輸送機械工業(同+8.8%)、化学・石油製品工業(対前年比+6.6%)などであり、低下した主な業種は、鉄鋼業(同▲5.7%)、汎用・生産用・業務用機械工業(同▲3.8%)、鉱業(同▲2.6%)などである。

② 四半期別の動向

表1は、2022年の四半期別生産指数の推移を示したものである。

大分県の生産指数は、Ⅱ期、Ⅲ期が前期比で上昇したが、Ⅰ期、Ⅳ期は前期比で低下した。

業種別四半期別の動向は、4ページ表2のとおりである。

表1 四半期別生産指数(季節調整済指数)の推移 (2020年=100)

区分	全国		九州		大分		
	指数	前期比(%)	指数	前期比(%)	指数	前期比(%)	前年同期比(%)
2022年Ⅰ期	105.4	0.8	104.1	0.4	96.6	▲5.7	▲8.2
Ⅱ期	103.9	▲1.4	106.7	2.5	109.6	13.5	4.5
Ⅲ期	107.1	3.1	111.9	4.9	111.7	1.9	8.8
Ⅳ期	105.3	▲1.7	109.0	▲2.6	111.2	▲0.4	8.3

(注) 前年同期比は原指数をもとに算出。

資料：統計表第10表

〈四半期別動向の詳細〉

(ア) I期

生産指数は、96.6で前期比▲5.7%と低下し、この期は、全13業種中6業種が上昇、7業種が低下となった。

上昇した業種は、プラスチック製品工業（前期比+24.1%）、輸送機械工業（同+6.0%）、パルプ・紙・紙加工品工業（同+5.2%）などである。

一方、低下した業種は、化学・石油製品工業（前期比▲26.6%）、鉄鋼業（同▲9.6%）、非鉄金属・金属製品工業（同▲5.0%）などである。

(イ) II期

生産指数は、109.6で前期比+13.5%と上昇し、この期は、全13業種中12業種が上昇、1業種が低下となった。

上昇した業種は、化学・石油製品工業（前期比+31.8%）、非鉄金属・金属製品工業（同+27.9%）、プラスチック製品工業（同+21.6%）などである。

一方、低下した業種は、パルプ・紙・紙加工品工業（前期比▲3.4%）である。

(ウ) III期

生産指数は、111.7で前期比+1.9%と上昇し、この期は、全13業種中8業種が上昇、5業種が低下となった。

上昇した主な業種は、プラスチック製品工業（前期比+21.2%）、輸送機械工業（同+20.4%）、化学・石油製品工業（同+8.3%）などである。

一方、低下した主な業種は、鉄鋼業（前期比▲11.7%）、鉱業（同▲6.6%）、窯業・土石製品工業（同▲4.9%）などである。

(エ) IV期

生産指数は、111.2で前期比▲0.4%と低下し、この期は、全13業種中4業種が上昇、9業種が低下となった。

上昇した業種は、非鉄金属・金属製品工業（前期比+14.0%）、鉄鋼業（同+7.1%）、輸送機械工業（同+0.8%）などである。

一方、低下した主な業種は、化学・石油製品工業（前期比▲12.6%）、電気・情報通信機械工業（同▲8.3%）、汎用・生産用・業務用機械工業（同▲4.7%）などである。

表2 業種別四半期別生産指数（季節調整済指数）の推移

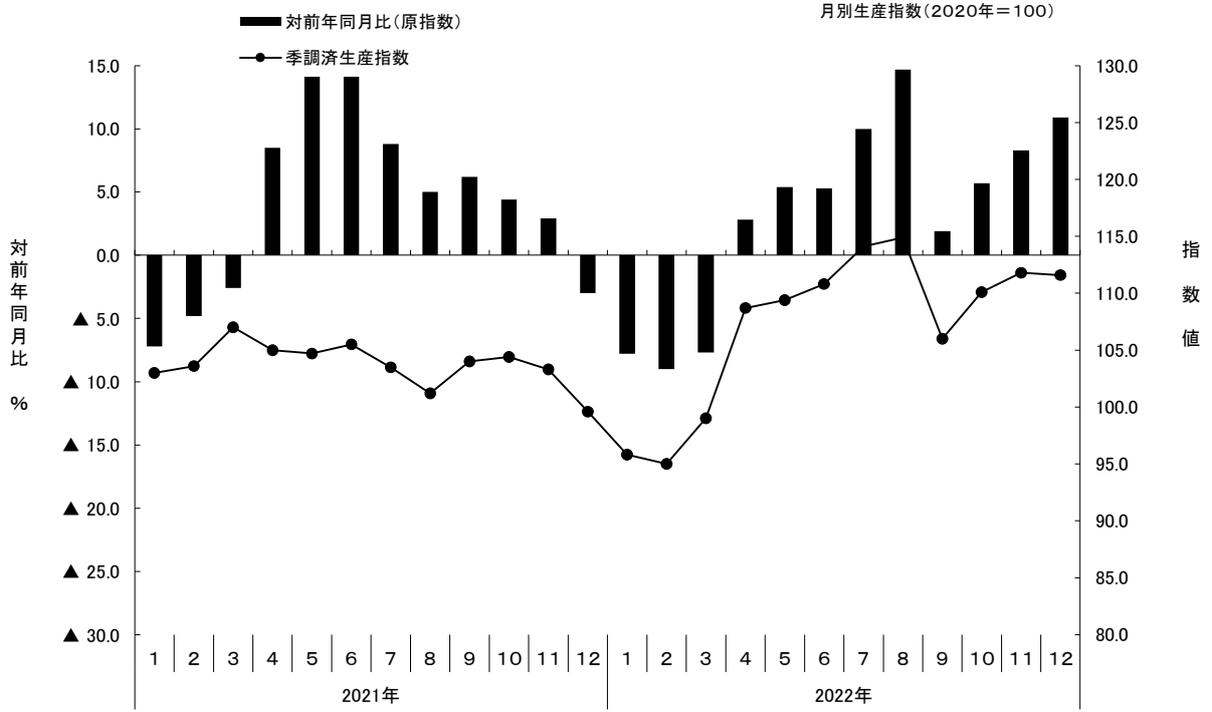
業種別	生産指数				前期比（％）			
	2022年				2022年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	96.6	109.6	111.7	111.2	▲ 5.7	13.5	1.9	▲ 0.4
製造工業	96.7	109.7	111.7	111.3	▲ 5.6	13.4	1.8	▲ 0.4
鉄鋼業	97.9	111.1	98.1	105.1	▲ 9.6	13.5	▲ 11.7	7.1
非鉄金属・金属製品工業	80.3	102.7	100.4	114.5	▲ 5.0	27.9	▲ 2.2	14.0
汎用・生産用・業務用機械工業	101.4	101.6	105.8	100.8	▲ 4.2	0.2	4.1	▲ 4.7
電子部品・デバイス工業	119.7	133.2	142.1	138.2	0.3	11.3	6.7	▲ 2.7
電気・情報通信機械工業	111.8	116.9	121.7	111.6	▲ 0.3	4.6	4.1	▲ 8.3
輸送機械工業	85.1	92.6	111.5	112.4	6.0	8.8	20.4	0.8
窯業・土石製品工業	111.4	121.5	115.5	111.6	▲ 3.5	9.1	▲ 4.9	▲ 3.4
化学・石油製品工業	91.5	120.6	130.6	114.1	▲ 26.6	31.8	8.3	▲ 12.6
プラスチック製品工業	73.7	89.6	108.6	106.4	24.1	21.6	21.2	▲ 2.0
パルプ・紙・紙加工品工業	105.7	102.1	106.9	103.6	5.2	▲ 3.4	4.7	▲ 3.1
食料品工業	102.6	105.8	106.9	106.2	1.5	3.1	1.0	▲ 0.7
その他工業	97.7	100.9	100.6	100.8	1.2	3.3	▲ 0.3	0.2
繊維工業	67.3	65.6	71.0	68.3	▲ 4.7	▲ 2.5	8.2	▲ 3.8
家具・木材・木製品工業	96.6	105.5	104.4	99.2	▲ 8.6	9.2	▲ 1.0	▲ 5.0
印刷業	109.0	107.7	98.7	101.9	7.6	▲ 1.2	▲ 8.4	3.2
その他製品工業	98.7	107.7	119.6	119.4	7.5	9.1	11.0	▲ 0.2
鉱業	102.4	105.3	98.3	96.4	▲ 0.9	2.8	▲ 6.6	▲ 1.9

（2020年＝100）

資料：統計表第10表

参考

図2 月別生産指数（季節調整済指数）の推移



資料：統計表第7表

③ 業種別寄与度

総合の増減分に対して、その内訳である業種の増減分がどの程度影響を与えたかを示したものが寄与度である。

2022年の生産指数は、前年比+3.5%と上昇した。この増減に対して上昇に寄与したものが8業種、低下に寄与したものが5業種となっている。

上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業（同+1.3%）、窯業・土石製品工業（同+1.0%）、汎用・生産用・業務用機械工業（0.9%）である。

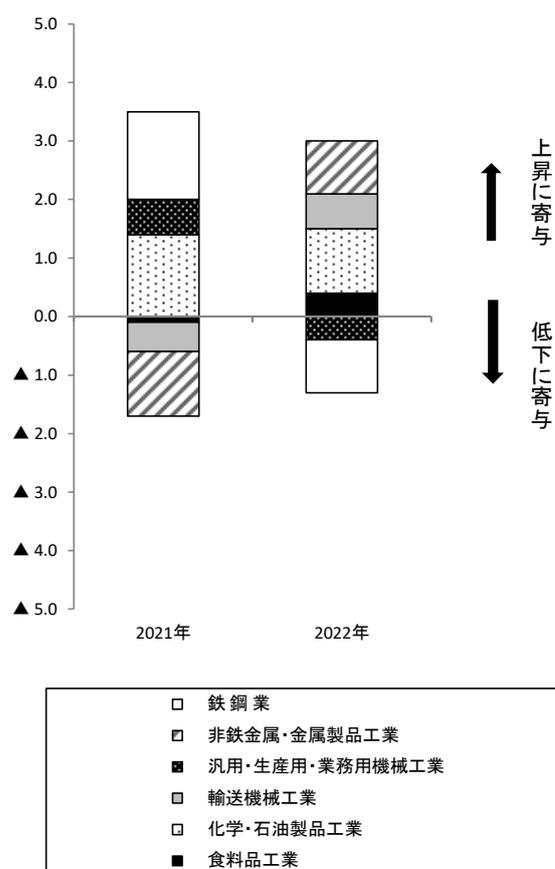
一方、低下した主な業種は、非鉄金属・金属製品工業（寄与度▲1.5%）、輸送機械工業（同▲1.4%）、食料品工業（同▲0.3%）などである。

また、図3は生産指数の業種別の寄与度について、2021年と2022年を示したものである。

表3 業種別寄与度（2022年）

業 種 別	寄与度(%)
鉱工業	3.5
製造工業	3.6
鉄鋼業	▲ 0.9
非鉄金属・金属製品工業	0.9
汎用・生産用・業務用機械工業	▲ 0.4
電子部品・デバイス工業	1.8
電気・情報通信機械工業	0.1
輸送機械工業	0.6
窯業・土石製品工業	0.0
化学・石油製品工業	1.1
プラスチック製品工業	0.1
パルプ・紙・紙加工品工業	0.0
食料品工業	0.4
その他工業	▲ 0.1
繊維工業	▲ 0.1
家具・木材・木製品工業	0.0
印刷業	0.0
その他製品工業	0.0
鉱業	0.0

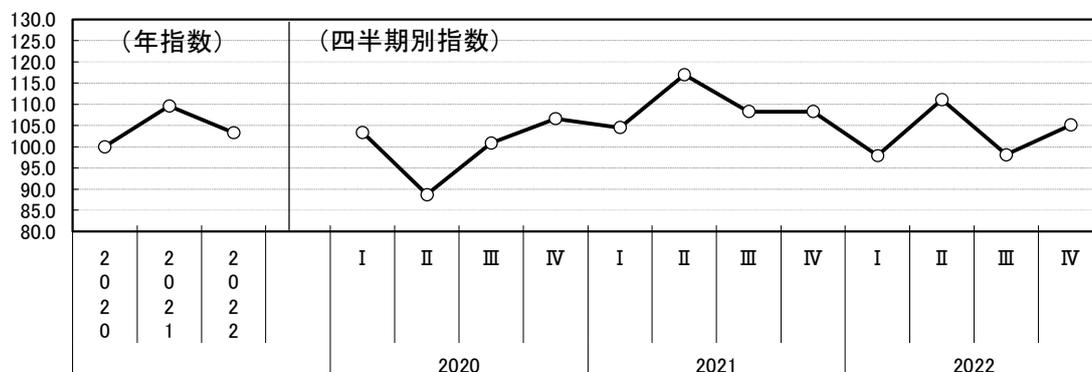
図3 2021年と2022年における生産指数の業種別寄与度（主要業種）



(2) 業種別の生産動向

[年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期別指数及び前期比は季節調整済指数 2020年=100]

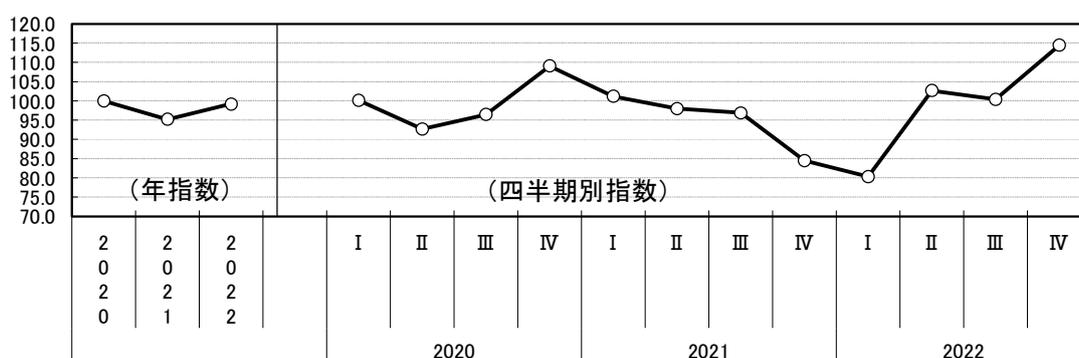
① 鉄鋼業



2022年の鉄鋼業の生産指数は103.3で、前年比▲5.7%と2年ぶりに低下した。

[鉄鋼業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	103.3	-	▲5.7
I期	97.9	▲9.6	▲6.7
II期	111.1	13.5	▲4.4
III期	98.1	▲11.7	▲9.9
IV期	105.1	7.1	▲2.3

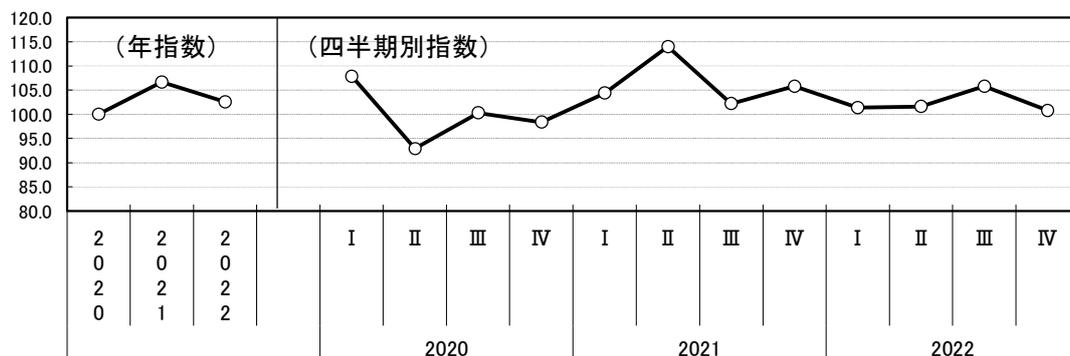
② 非鉄金属・金属製品工業



2022年の非鉄金属・金属製品工業の生産指数は99.2で、前年比+4.2%と2年ぶりに上昇した。

[非鉄金属・金属製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	99.2	-	4.2
I期	80.3	▲5.0	▲20.6
II期	102.7	27.9	4.9
III期	100.4	▲2.2	4.3
IV期	114.5	14.0	34.1

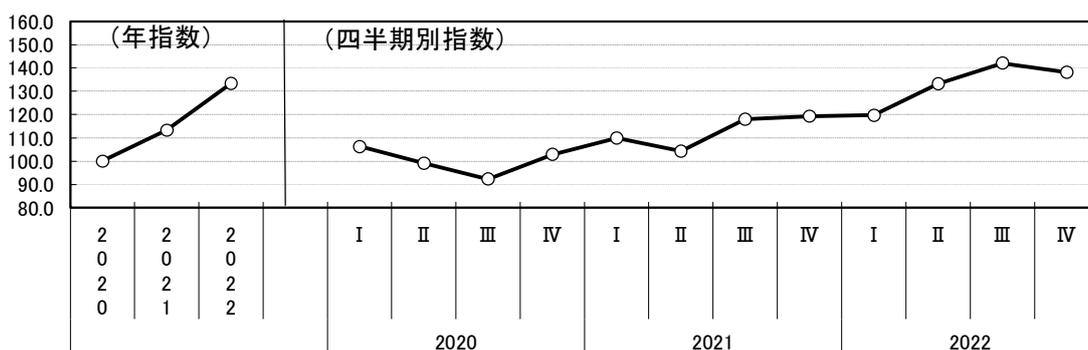
③ 汎用・生産用・業務用機械工業



2022年の汎用・生産用・業務用機械工業の生産指数は102.6で、前年比▲3.8%と2年ぶりに低下した。

[汎用・生産用・業務用機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	102.6	-	▲3.8
I期	101.4	▲4.2	▲3.4
II期	101.6	0.2	▲10.7
III期	105.8	4.1	3.8
IV期	100.8	▲4.7	▲4.5

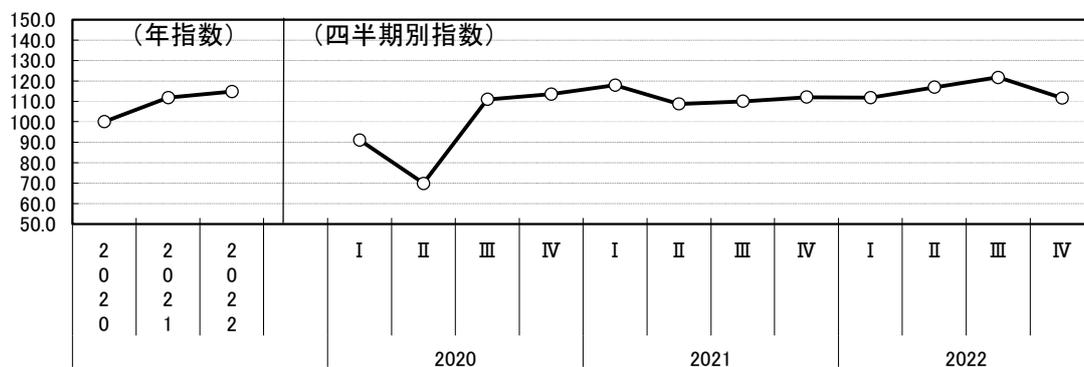
④ 電子部品・デバイス工業



2022年の電子部品・デバイス工業の生産指数は133.4で、前年比+17.7%と2年連続で上昇した。

[電子部品・デバイス工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	133.4	-	17.7
I期	119.7	0.3	8.5
II期	133.2	11.3	27.1
III期	142.1	6.7	21.9
IV期	138.2	▲2.7	14.4

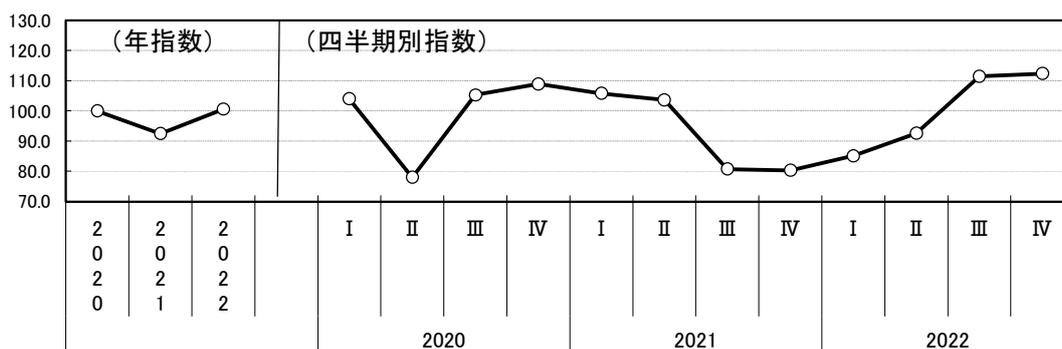
⑤ 電気・情報通信機械工業



2022年の電気・情報通信機械工業の生産指数は114.8で、前年比+2.7%と2年ぶりに上昇した。

[電気・情報通信機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	114.8	-	2.7
I期	111.8	▲0.3	▲6.7
II期	116.9	4.6	8.5
III期	121.7	4.1	14.3
IV期	111.6	▲8.3	▲3.6

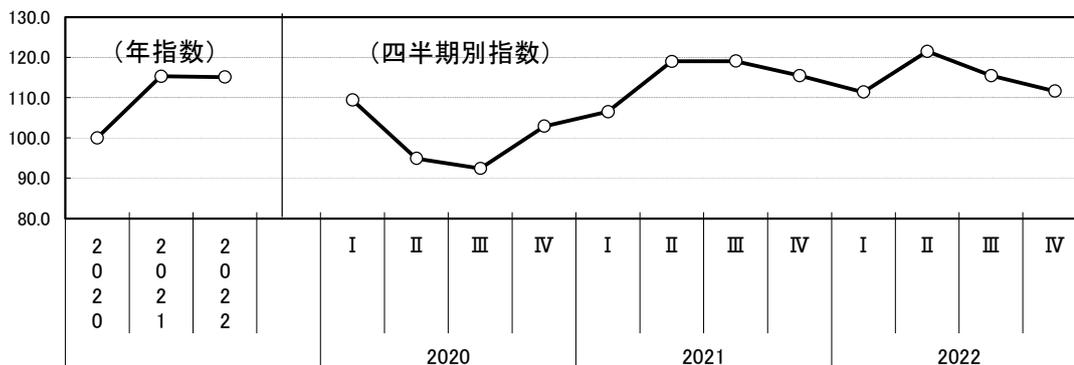
⑥ 輸送機械工業



2022年の輸送機械工業の生産指数は100.6で、前年比+8.8%と3年ぶりに上昇した。

[輸送機械工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	100.6	-	8.8
I期	85.1	6.0	▲19.6
II期	92.6	8.8	▲9.4
III期	111.5	20.4	39.5
IV期	112.4	0.8	36.8

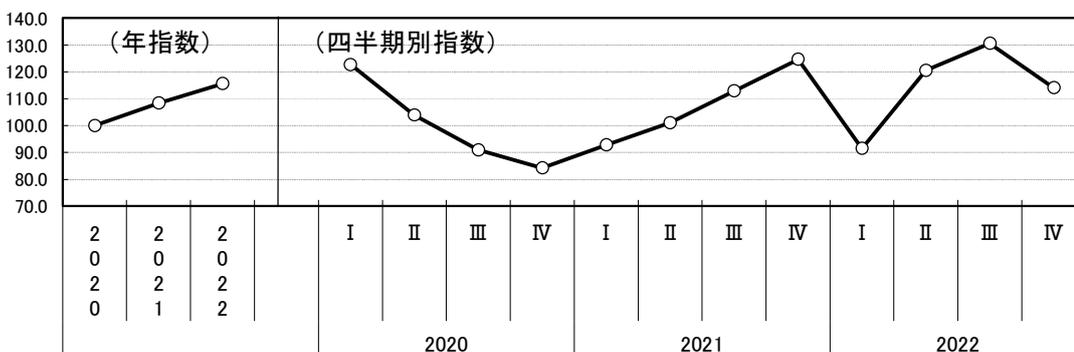
⑦ 窯業・土石製品工業



2022年の窯業・土石製品工業の生産指数は115.1で、前年比▲0.2%と2年ぶりに低下した。

[窯業・土石製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	115.1	-	▲0.2
I期	111.4	▲3.5	4.7
II期	121.5	9.1	1.8
III期	115.5	▲4.9	▲3.8
IV期	111.6	▲3.4	▲2.9

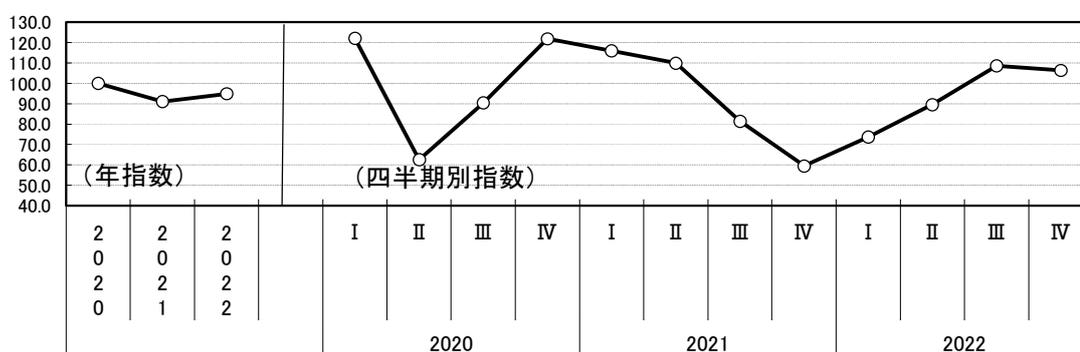
⑧ 化学・石油製品工業



2022年の化学・石油製品工業の生産指数は115.6で、前年比+6.6%と2年連続で上昇した。

[化学・石油製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	115.6	-	6.6
I期	91.5	▲26.6	▲1.7
II期	120.6	31.8	19.8
III期	130.6	8.3	17.2
IV期	114.1	▲12.6	▲8.0

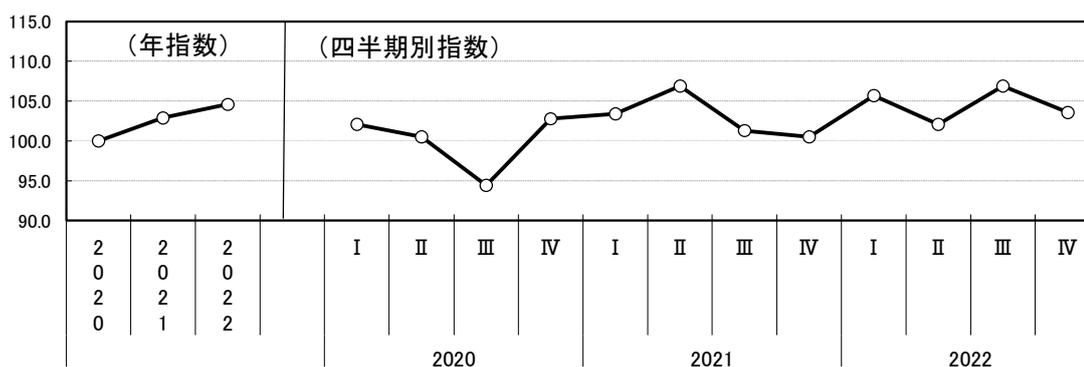
⑨ プラスチック製品工業



2022年のプラスチック製品工業の生産指数は94.9で、前年比+4.2%と2年ぶりに上昇した。

[プラスチック製品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	94.9	-	4.2
I期	73.7	24.1	▲36.5
II期	89.6	21.6	▲17.8
III期	108.6	21.2	35.1
IV期	106.4	▲2.0	75.4

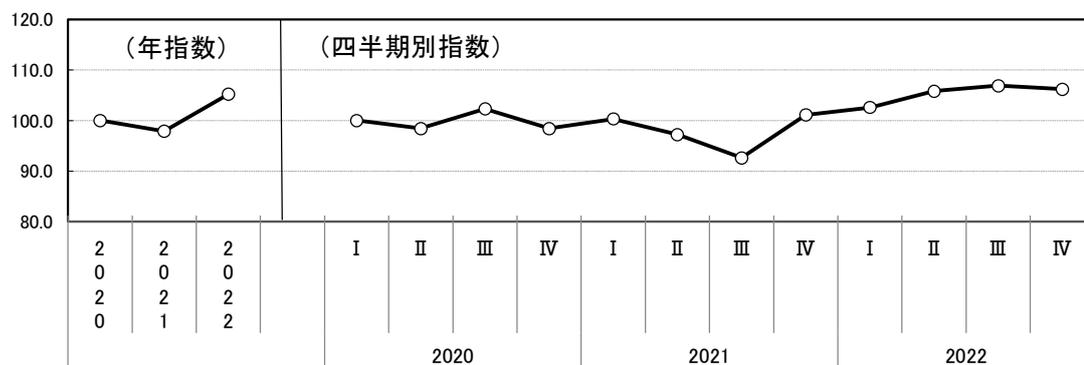
⑩ パルプ・紙・紙加工品工業



2022年のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は104.6で、前年比+1.7%と2年連続で上昇した。

[パルプ・紙・紙加工品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	104.6	-	1.7
I期	105.7	5.2	2.5
II期	102.1	▲3.4	▲3.7
III期	106.9	4.7	5.4
IV期	103.6	▲3.1	2.6

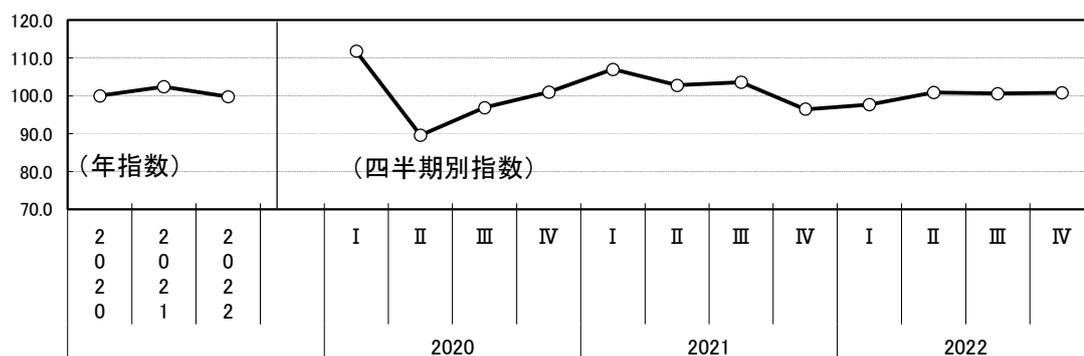
⑪ 食料品工業



2022年の食料品工業の生産指数は105.2で、前年比+7.5%と2年ぶりに上昇した。

[食料品工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	105.2	-	7.5
I期	102.6	1.5	2.2
II期	105.8	3.1	8.6
III期	106.9	1.0	15.6
IV期	106.2	▲0.7	4.0

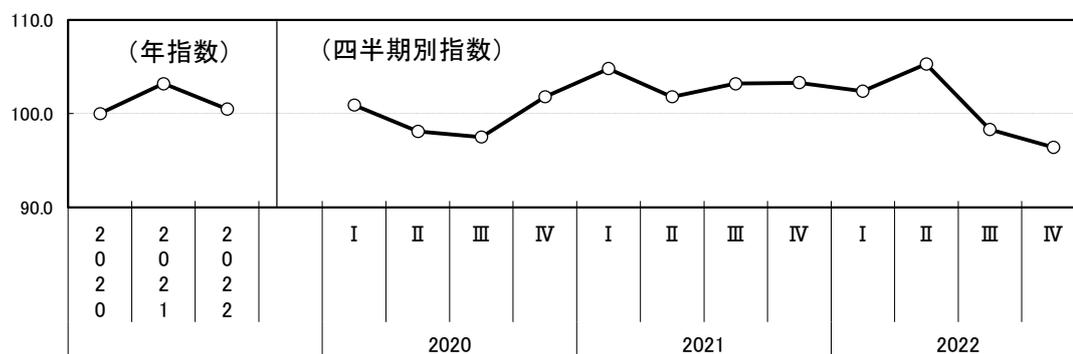
⑫ その他工業



2022年のその他工業の生産指数は99.8で、前年比▲2.5%と2年ぶりに低下した。

[その他工業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	99.8	-	▲2.5
I期	97.7	1.2	▲8.7
II期	100.9	3.3	▲2.1
III期	100.6	▲0.3	▲2.5
IV期	100.8	0.2	3.5

⑬ 鉱業



2022年の鉱業の生産指数は100.5で、前年比▲2.6%と2年ぶりに低下した。

[鉱業]	生産指数	前期比(%)	前年(同期)比(%)
2022年	100.5	-	▲2.6
I期	102.4	▲0.9	▲2.0
II期	105.3	2.8	3.8
III期	98.3	▲6.6	▲5.2
IV期	96.4	▲1.9	▲6.6

(3) 特殊分類別（財別）の生産動向

① 最終需要財

2022年の最終需要財の生産指数は、106.9で前年比+3.5%と2年連続で上昇した。

注) 最終需要財：鉱工業または他の産業に原材料などとして投入されない最終製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。

(ア) 投資財

2022年の投資財の生産指数は、107.7で前年比+5.0%と2年連続の上昇となった。内訳をみると資本財の生産指数は、107.1で前年比+3.8%と2年連続の上昇となり、建設財の生産指数は、108.5で前年比+6.9%と2年連続の上昇となった。

注) 投資財：設備投資や建設資材などに使われるもの。

資本財：投資財のうち、生産設備などの機械類や他の企業設備などに使われるもの。

建設財：鉄骨や橋りょうのように土木・建設関係に使われるもの。

(イ) 消費財

2022年の消費財の生産指数は、106.0で前年比+8.6%となり、2年ぶりの上昇となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、94.7で前年比▲2.8%と2年連続の低下となり、非耐久消費財の生産指数は110.0で前年比+12.6%と2年ぶりの上昇となった。

注) 消費財：主として家計で購入される財。耐久消費財とは、耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い財である。非耐久消費財とは、耐用年数が1年未満、または比較的購入単価が安い財である。

② 生産財

2022年の生産財の生産指数は、107.6で前年比+2.5%と2年連続で上昇した。

注) 生産財：鉱工業及び他の産業に原材料などとして投入される製品。ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く。

(統計表13表)

表4 特殊分類別（財別）生産指数

（2020年=100）

指数品目	2022年指数	前年比(%)
鉱工業	107.4	3.5
最終需要財	106.9	6.5
投資財	107.7	5.0
資本財	107.1	3.8
建設財	108.5	6.9
消費財	106.0	8.6
耐久消費財	94.7	▲ 2.8
非耐久消費財	110.0	12.6
生産財	107.6	2.5

資料：統計表13表

図4は、2020年以降の特殊分類別（財別）生産指数の推移を表したものである。2022年における最終需要財の生産指数は2年連続の上昇、生産財についても2年連続の上昇となった。

図4 特殊分類別（財別）生産指数の推移

（2020年=100）

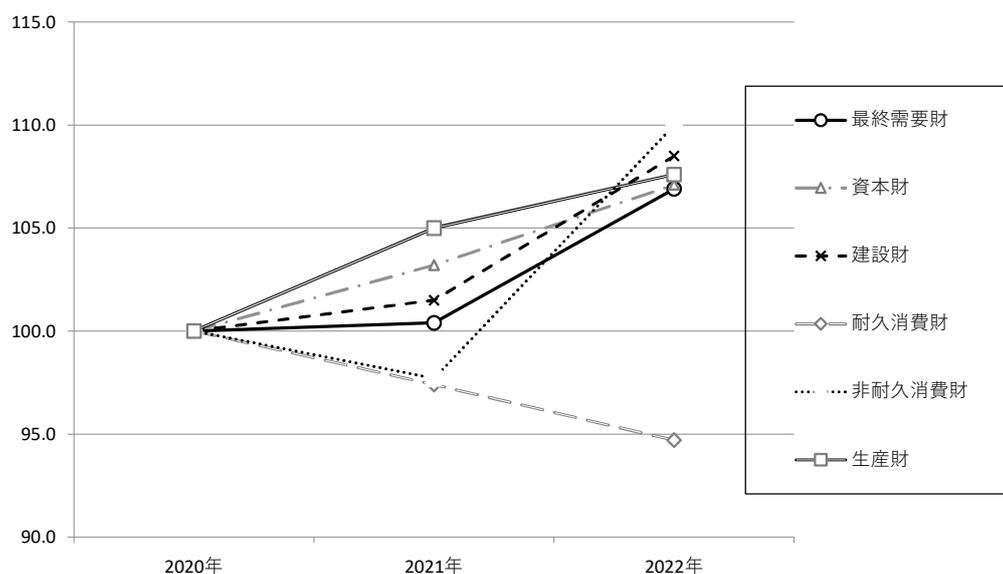


図5は、鉱工業生産指数の財別の寄与度について、2021年と2022年を示したものである。

図5 2021年と2022年における鉱工業生産指数の財別寄与度

